

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
2022年度「水泳」実技受講生の皆さまへ

研究に関する説明文書

1. 研究課題名

聴覚障がい学生を対象とした水泳指導の事例と課題

2. この研究の目的と意義

中部学院大学スポーツ健康科学部において、教員免許取得を目指す学生さんにとっては、『水泳』の実技は必修科目となっています。学部開設以来、授業担当者としては保健体育教員として身につけてもらいたい水泳技術、指導法、救助法等を中心に授業を展開してきました。半期という短い期間であり、課題も多いですが成果もあがっています。さて、2022年度は受講生の中に、聴覚障がい学生さんがいました。大学は、障がい学生さんの学びの環境を整える義務があります。そこで、今回保健体育教員の養成課程を持つ大学における、聴覚障がい学生に対する水泳指導を通して、水泳指導方法の工夫や配慮すべき点および課題点を明らかにしたいと考えています。また、このように障がい学生に対する授業における合理的配慮を具体化していくことは、大学における障がい学生の教育環境整備への取り組みを推進していく上で重要な意味があると考えています。

3. 研究方法

○研究対象 2022年度水泳授業受講者（聴覚障がい学生1名（以下Tとする）含む）

○調査内容（評価方法）①質問紙調査（受講者全員） ②学習評価（受講者全員）

③観察記録（Tの実践記録）④Tへの聞き取り調査 ⑤Tの提出レポート

なお、Tさんに対しては研究目的及びデータ収集について事前に口頭及び文書にて説明し、同意を得ています。（承諾書に署名）上記の5種類の評価方法についての説明、それを活用して学会発表や論文にまとめること、そして得られたデータは厳重に研究責任者のもとで管理し、本研究以外には一切使用しないことについて直接説明し、その場で署名をしてもらいました。

4. 研究実施期間

研究を対象とする期間 2022年4月～2022年8月

研究実施期間 承認日～2023年3月31日

5. 研究の実施体制

中部学院大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

（研究責任者）教授 水野かほみ：データ収集・分析・論文作成・学会発表

6. この研究への参加に伴って生じる負担及び予想されるリスクについて

この研究は、授業における実践研究であるため、研究への参加に伴い生じる負担やリスクはありません。

7. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加はあなたの自由意思によるものです。いつでも参加を取りやめることができます。同意されなくても、あなたに不利益になることは全くありません。

<研究への参加を拒否する場合の連絡先>

担当部署：中部学院大学総合研究センター（教育研究支援課内）

住 所：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目 1 番地

電話番号：0575-24-2238

F A X ：0575-29-3000

8. 研究に関する情報公開の方法

研究の最終的な結果は学会や学術雑誌で公開される予定ですが、結果は情報をまとめた形で報告されますので、あなたのお名前などの個人情報を特定されることはありません。

9. 研究に関する情報の提供について

研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、問い合わせ窓口までお申し出ください。

10. 個人情報の取扱いについて

氏名等の個人が特定される情報は削除し匿名化します。

11. データの保管及び廃棄の方法

研究情報を取扱うコンピュータをパスワード管理し、情報の紛失・遺漏等を防止します。また、データ情報のファイルにはパスワードを設定し保存し、研究責任者が責任をもって保管します。同意の撤回（中止の申し出）があったデータ等については、登録時から、データを破棄します。研究終了後、試料は原則論文発表後5年、研究等の実施に係わるデータ等は論文発表後10年間は保存し、その後、適切に廃棄します。

12. 研究にかかわる資金源および利益相反について

今回の研究は大学の授業内で得たデータを活用する実践研究であり、本研究に参加することによる研究対象者の費用負担や直接的な利益は生じません。また、研究遂行にあたって、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

13. 研究対象者等及び関係者からの相談対応

【相談窓口】

中部学院大学 教育研究支援課

所在地：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目 1 番地

連絡先：0575-24-2238

E-mail：cgrd@chubu-gu.ac.jp

14. 知的財産権の帰属について

知的財産権が生じる可能性があります。その権利は、研究者および中部学院大学に帰属します。研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。 以上